

2006 年度

科目名 現代社会と人権（総合講座） A	対象学科・学年 文学部日文 2 回生 文学部英米 2 回生 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 金井 英樹
授業テーマ 現代社会における人権の諸相と私たち		
授業の概要と目標 現代社会にはさまざまな差別・人権侵害の現実が存在しています。部落問題をはじめとする、差別の現実を具体的にとりあげて、そこから深く学ぶとはどういうことなのか、また、人権を尊重する知の技法を身につけるためには、何が必要とされるのかを考えていきたいと思います。私たちの生きる時代を＜人権の世紀＞にするために、ともに学ぼう。		
評価方法 基本的にレポートの成果によって評価します。毎時提出のコミュニケーション・ペーパーも参考とします。		
テキスト 特に指定しません。適宜レジュメを配布します。	著者	出版社
参考書 『部落問題論への招待』 その他、必読文献・参考文献を授業で紹介します。	著者 寺木神明・野口道彦編	出版社 解放出版社
授業スケジュール・内容 1, はじめに 2, 現代社会と差別Ⅰ 3, 現代社会と差別Ⅱ 4, 日本社会と部落問題Ⅰ 5, 日本社会と部落問題Ⅱ 6, 日本社会と部落問題Ⅲ 7, 日本社会と部落問題Ⅳ 8, 日本社会と部落問題Ⅴ 9, 差別と排外意識Ⅰ 10, 差別と排外意識Ⅱ 11, 障害者・病者と差別 12, ジェンダーをめぐる 13, 子どもの人権 14, 戦争と差別 15, 多文化共生社会へ 授業の進め方、レポートについて、意識調査の実施。 現代社会と差別の諸相を考える。 人権とは何か。 部落史観の転換とは何か。 部落の形成史に迫る。 部落差別の観念性と共同幻想を撃つ。 貴賤観・浄穢（ケガレ）観・優劣観等々。 近代の問題としての部落問題。 在日コリアンの歴史と現状。 「新渡日」の人々の現状。 障害者・病者をとりまく諸問題。 ジェンダーとは何か。 子どもの権利と子どもをとりまく状況。 最大の人権侵害と環境破壊。 多文化共生とは何か。水平社宣言から学ぶ。		